

山葉寅楠 やまばな 實業家。嘉永四年江戸生れ、大正五年八月六日歿（一八五二—一九二六）。維新後時計商の徒弟、醫療器械技師となるも、靜岡縣濱松でアメリカ製オルガンの修理を主懸けたことから自作を志し、明治二十一年我が國初の製造に成功。翌年山葉風琴製作所を設立、二十年白木樂器製造株式會社に改組。ピアノ、ハーモニカの國産化も果す。二十一年文部省の依頼を受けアメリカの樂器事情を視察した記録、『渡米日記』（大野木吉共編、昭和二十二年二月二十一日静岡・浜松史蹟調査顕彰会「遠江資料叢書」）がある。

